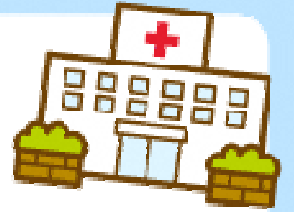


RSウイルス感染症に注意！



○ RSウイルス感染症とはどのような病気ですか？

RSウイルスの感染による呼吸器の感染症で、2歳までに1度は感染するといわれています。年長児や成人も感染しますが、多くは風邪様症状や気管支炎症状のみであるため、当該感染症と気付かれない場合が多いと考えられます。

通常ウイルスに感染してから4~6日間の潜伏期間を経て発熱、鼻汁などの症状が数日続きます。多くは軽症で済みますが、重くなる場合には、その後咳がひどくなる、喘鳴が出る、呼吸困難となるなどの症状が出現し、場合によっては、細気管支炎、肺炎へと進展していきますので、早めに医療機関を受診することが重要です。

○ 感染経路は？

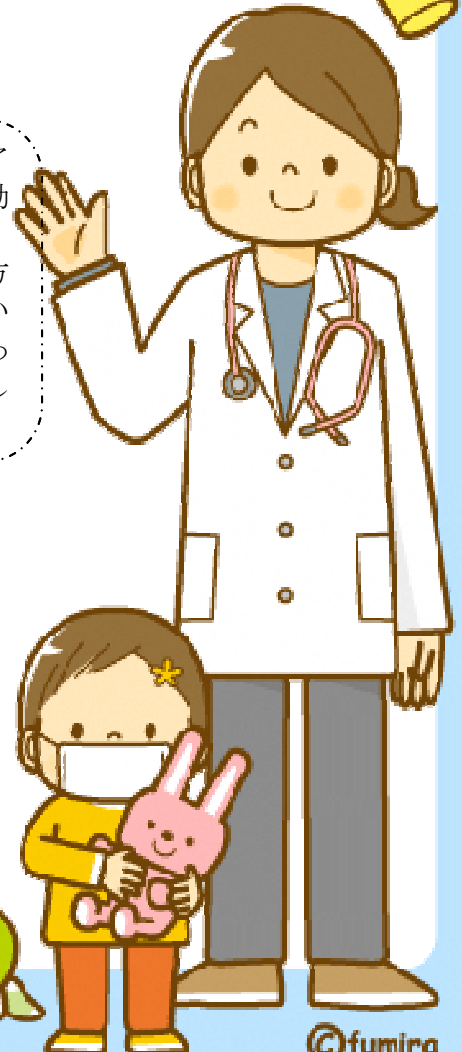
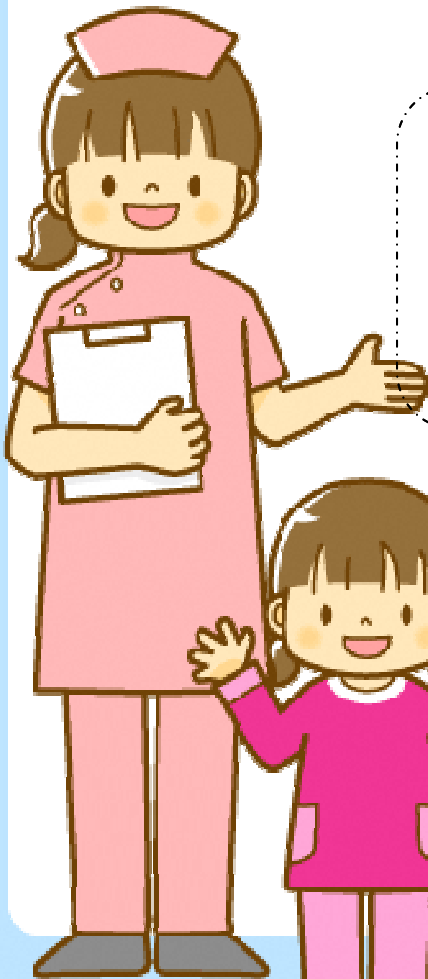
RSウイルスに感染している人が咳やくしゃみをした際に飛び散るしぶきや、感染している人の手指、ウイルスがついているドアノブ、手すり、おもちゃ等に接触することで感染します。

○ RSウイルス感染症にかかったら？

RSウイルス感染症には特効薬はなく、治療は対症療法（症状を和らげる治療）を行います。なお、感染予防のためのワクチンはありません。

感染予防のポイント

- ★ 流水・石けんによる手洗いや、アルコール製剤による手指衛生を励行しましょう。
- ★ 特に日常的に乳幼児と接する方は、外出後等にしっかりと手洗いをするとともに、咳などの症状がある場合には、必ずマスクを着用しましょう。



©fumira